



2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年5月14日

上場会社名 ノイルイミュン・バイオテック株式会社 上場取引所 東
コード番号 4893 URL <https://www.noile-immune.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉田 耕治
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 永井 寛子 TEL 03 (5843) 7819
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の業績 (2024年1月1日～2024年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	事業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	2	△68.0	△339	—	△339	—	△340	—
2023年12月期第1四半期	8	—	△269	—	△493	—	△494	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	△7.86	—
2023年12月期第1四半期	△12.49	—

- (注) 1. 2023年12月期第1四半期潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、また、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
2. 2024年12月期第1四半期潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	5,456	5,349	97.9
2023年12月期	5,778	5,687	98.3

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 5,342百万円 2023年12月期 5,680百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の業績予想 (2024年1月1日～2024年12月31日)

当社の事業上の特性として現時点では業績に与える未確定な要素が多く、今後の見通しについては、適正かつ合理的な数値の算出が困難な状況と考えており、2024年12月期の業績予想は記載しておりません。なお、今後の事業進捗を踏まえて、合理的な開示が可能となった場合には速やかに開示いたします。また、当該理由、2024年12月期の事業方針などは添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期 1 Q	43,301,765株	2023年12月期	43,276,765株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	一株	2023年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期 1 Q	43,284,732株	2023年12月期 1 Q	39,579,865株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、「がんを克服できる社会の創生に貢献する」という経営理念の下、当社の独自技術であるPRIME (proliferation inducing and migration enhancing) 技術を用いた固形がんに対するCAR-TやTCR-Tなどの遺伝子改変免疫細胞療法の研究開発に取り組んでおります。

当第1四半期累計期間における当社事業の概況としまして、PRIME技術を基盤とした自社創薬及び共同パイプラインを引き続き推進いたしました。自社創薬におきましては、当社パイプラインNIB101について第I相臨床試験が進行しており、対象症例の同定を進めております。なお、NIB101について、製造委託先における治験製品の製造及び品質試験に関して、品質管理上の手順等に解決すべき課題が断続的に複数回生じたこと、を要因とする治験の遅れが発生しております。現在、製造委託先に対する継続的な監視を行うとともに、バックアップとなる製造委託先の検討を進める等、適切な対応を進めております。また、NIB101に続く新たなパイプラインに関する研究や次世代技術に関する研究を実施しております。2017年より継続している国立大学法人山口大学との共同研究においては、引き続きCAR-TやTCR-Tを中心とした次世代型遺伝子改変細胞療法、他家細胞を利用したがん免疫細胞療法、次世代型PRIME技術に関する研究を実施しております。同じく当社が創製したNIB102およびNIB103については、導出先の武田薬品工業株式会社よりライセンス契約を解消し開発と商業化に関する権利を当社へ返還する旨の通知を受けました。今後、当社はNIB102とNIB103の権利を有することになりますが、同社との間で、試験の方針、これまでに得られたデータの移管や知財の取り扱い、武田薬品工業株式会社から支払われ得る解約金の清算に関する協議を進めており、これを踏まえ、NIB101の状況も合わせて、自社開発として優先すべきパイプラインや新たなパートナーの戦略の検討を早期に進めてまいります。

共同パイプラインにおきまして、従前よりPRIME技術をライセンスしているAdaptimmune Therapeutics plc、Autolus Therapeutics plc及び中外製薬株式会社による研究開発が引き続き進行しております。なお、技術評価に関する契約を締結している第一三共株式会社において評価研究を実施中です。

以上の結果、当第1四半期累計期間における事業収益は2,587千円（前年同期比68.0%減少）を計上した一方で開発の継続により、営業損失は339,285千円（前年同期は269,554千円の営業損失）となりました。経常損失は339,567千円（前年同期は493,787千円の経常損失）、四半期純損失は340,177千円（前年同期は494,395千円の四半期純損失）となりました。

なお、当社は、がん免疫療法創薬事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は5,456,992千円となり、前事業年度末に比べ321,954千円減少しました。これは主に、現金及び預金が315,213千円、前払費用が17,776千円減少した一方で、未収消費税等が21,056千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は107,217千円となり、前事業年度末に比べ15,722千円増加しました。これは主に、未払金が28,157千円、未払費用が5,172千円、預り金が4,248千円増加した一方で、未払法人税等が19,010千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は5,349,775千円となり、前事業年度末に比べ337,677千円減少しました。これは主に、四半期純損失の計上により利益剰余金が340,177千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、NIB102及びNIB103について、導出先の武田薬品工業株式会社より、ライセンス契約を解消し開発と商業化に関する権利を当社へ返還する旨の通知を受けました。これにより、当社はNIB102及びNIB103の権利を有することになります。現在、同社との間でこれまでに得られたデータの移管等の協議を進めております。また、当社パイプラインNIB101について、製造委託先における治験製品の製造及び品質試験に関して、品質管理上の手順等に解決すべき課題が断続的に複数回生じたことを要因とする治験の遅れが発生しており、現在、製造委託先に対する継続的な監視を行うとともに、バックアップとなる製造委託先の検討を進める等、適切な対応を進めております。これら複数の自社パイプラインにつきまして、NIB102とNIB103に関するデータ等の詳細な情報が得られ次第、NIB101の状況も踏まえ、自社開発として優先すべきパイプラインや新たなパートナーの戦略の検討を早期に進めてまいります。共同パイプラインについては、既存のパートナーとのプロジェクトを推進するとともに、新たなパートナーとの提携によるアップフロント収入等の獲得を目指しております。しかしながら、当社の事業はパートナーによ

る事業の進展状況や新たなライセンス契約による事業収益等によって業績が大きく変動する可能性があります。また、上記のように武田薬品工業株式会社より返還されたNIB102及びNIB103の開発と商業化に関する権利を含め前年度以前の開発計画の見直しを進めている段階であるため、本日以降の開発計画に変更が生じる可能性もあります。当社の事業上の特性として現時点では業績に与える未確定な要素が多く、今後の見通しについては、適正かつ合理的な数値の算出が困難な状況と考えており、通期の業績予想は開示しない方針です。なお、今後の事業進捗を踏まえて、合理的な開示が可能となりましたら速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,555,691	5,240,477
貯蔵品	20,901	16,580
前渡金	29,317	25,724
前払費用	38,622	20,846
未収消費税等	66,994	88,051
その他	5,561	3,875
流動資産合計	5,717,089	5,395,556
固定資産		
投資その他の資産		
長期前払費用	2,699	2,268
長期預け金	35,034	35,034
差入保証金	24,123	24,133
投資その他の資産合計	61,857	61,436
固定資産合計	61,857	61,436
資産合計	5,778,946	5,456,992
負債の部		
流動負債		
未払金	18,715	46,873
未払費用	29,613	34,786
未払法人税等	30,210	11,199
契約負債	2,845	—
預り金	4,875	9,123
流動負債合計	86,260	101,983
固定負債		
資産除去債務	5,233	5,233
固定負債合計	5,233	5,233
負債合計	91,494	107,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,045,977	4,047,254
資本剰余金	4,023,821	4,025,098
利益剰余金	△2,389,247	△2,729,424
株主資本合計	5,680,550	5,342,927
新株予約権	6,901	6,847
純資産合計	5,687,452	5,349,775
負債純資産合計	5,778,946	5,456,992

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
事業収益	8,101	2,587
事業費用		
事業原価	1,048	195
研究開発費	174,524	194,321
その他の販売費及び一般管理費	102,084	147,355
事業費用合計	277,656	341,873
営業損失(△)	△269,554	△339,285
営業外収益		
受取利息	22	28
為替差益	794	—
その他	0	0
営業外収益合計	816	28
営業外費用		
為替差損	—	310
上場関連費用	225,049	—
営業外費用合計	225,049	310
経常損失(△)	△493,787	△339,567
税引前四半期純損失(△)	△493,787	△339,567
法人税、住民税及び事業税	608	609
法人税等合計	608	609
四半期純損失(△)	△494,395	△340,177

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自2023年1月1日 至2023年3月31日)

当社は、がん免疫療法創薬事業の単一セグメントであり、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第1四半期累計期間(自2024年1月1日 至2024年3月31日)

当社は、がん免疫療法創薬事業の単一セグメントであり、セグメント情報の記載を省略しております。